



# TOKYO 2020

## 東京2020大会 会場内のサインの製作・設置・維持・撤去等に係る業 務委託（コロナ対策分）

大会運営局 会場サービス部 サイネージ課

2021年3月

# 1. 契約概要

## ■ 契約件名

東京2020大会 会場内のサインの製作・設置・維持・撤去等に係る業務委託（コロナ対策分）

受託者 : ノムラプロダクツ・凸版印刷コンソーシアム  
契約種類 : 特別契約  
契約金額 : コロナ対策費予算の範囲内  
契約期間 : 2021年3月～2021年11月  
契約目的 : 新型コロナウイルス感染症への対策として、新たに発生した遵守事項、規制等を、来場した観客、及び大会関係者に対しサインを使用して周知・徹底するため

対象サイト：競技会場、選手村、公式空港、UAC、IBC/MPC、OFH/PFH、練習会場 他

160箇所以上に及ぶ、対象サイトへの現地調査、及び、各種サインの仕様設計等の計画業務に対するコストと納期を圧縮するため、会場内サイン業務を受託するノムラプロダクツ・凸版印刷コンソーシアムとの特別契約とする。

# 2.サインの概要

## (1) 掲示内容例

- ・ 検温実施を含めた入場時、又は、会場内での行動に対する規制・遵守事項の告知
- ・ 感染予防対策（手指消毒、マスク着用、フィジカルディスタンス等）の周知徹底



※サイン イメージ



検温実施中



マスク着用



間隔をあけてください



間隔をあけて  
お並びください  
Please keep apart



消毒してください



手を洗いましょう

## (2) 設置位置、サインタイプ

### ①【入場前】 ▶ 「入場を控えるべき対象条件」、「会場滞在時の行動規範」

- ・ 設置場所：PSA外バウンダリー、検温スペース・PSAキューイング前
- ・ サイン仕様：大型A型、スタンドサイン、小型置き型 等



### ②【入場後】 ▶ 「会場滞在時の行動規範」

- ・ 設置場所：会場入口～会場共有スペース（コンコース等）、トイレ、BOH諸室
- ・ サイン仕様：小型A型、待機列 足元フットサイン、壁貼りシート

小型A型



# 3. 検討方法

何を

① 準拠ガイドライン

(1) 「THE PLAY BOOK」

(2) 「新型コロナウイルス対策競技会場向けガイドラインV1」

東京2020大会の会場にてサイネージとして周知・徹底を行うべき事項を各種ガイドラインから抽出

どこに

② 設置個所、掲示方法

(1) スポーツイベントでのサイネージ実績レポート

(2) 【SIGNAGE PLAN】 COVID-19 Countermeasures & Readiness Sign Strategy

スポーツイベントで実績事例やIOCから提示されたサイネージプランを基にサインの掲示方法、設置個所を設定

いくつ

③ サイン点数算出

(1) モデル会場別での検証

(2) 会場別の設置個所数 調査・分析

モデル会場での検証を踏まえて基準値を設定、各会場で設置が必要な個所数抽出し、会場別のサイン数量を算出

**上記の検討過程を経て、安心・安全な大会を実現するため、最適な新型コロナウイルス感染対策サイネージ計画を作成。**

※検討の詳細については、次頁以降で説明

# 4. 検討詳細-① 準拠ガイドラインと周知事項

## (1) 「THE PLAY BOOK」 (発行：IOC/IPC/大会組織委員会)

- ・ 東京2020大会に参加するステークホルダー向けのプレイブック (ルールブック)
- ・ 新型コロナウイルス感染症対策調整会議の中間整理を基に、IOC、IPC、世界保健機関 (WHO)、また、第三者である世界中の専門家・機関からの助言と、コロナ禍の中で開催された世界中の国際的なスポーツイベントからの学びを参考にして作成
- ・ 安全・安心にプライオリティが置かれる本大会において関係者が遵守すべきルールを記載

## (2) 「新型コロナウイルス対策競技会場向けガイドラインV1」 (発行：大会組織委員会)

- ・ 国、都及び組織委員会の三者調整会議の中間整理や国内外のスポーツイベント等の対策案を参考にし、東京2020大会の競技会場における新型コロナウイルス感染症対策の基本的な考え方と具体的な対策例について整理したもの。各競技会場チームは本ガイドラインにおける基本的な考え方に基づいて対策検討と大会準備を進行。
- ・ GD室が作成した各FA共通の感染症対策の基本も本資料にて記載。



これら、各種ガイドラインの記載事項に則り、会場にて周知・徹底を行うべき項目を決定

- ① 「入場を控えるべき対象条件」 ➢ 体温37.5度以上、強い倦怠感、PCR等検査の陽性歴条件 等
- ② 「会場滞在時の行動規範」 ➢ フィジカルディスタンス確保、マスク着用、手洗い・手指衛生、密閉・密集・密接の回避、騒ぐ・大声で会話する等の飛沫感染リスクを高める行為の禁止 等

# 4.検討詳細-②設置個所、掲示方法

## (1) スポーツイベントでの実績

- ・プロ野球（東京ドーム、横浜スタジアム）での実証実験
- ・オリンピックスタジアムでのサッカーイベント（ルヴァン杯、天皇杯）等  
新型コロナウイルス感染下で開催された他スポーツイベントでのサインージ事例を基に、  
設置個所、掲示方法を検討。

## (2) 「VENUE OPERATIONAL RE-PLANNING /VENUE COVID-19 READINESS PLANS」 (IOC) 【SIGNAGE PLAN】 COVID-19 Countermeasures & Readiness Sign Strategy

- ・IOCが開催した会場向けワークショップにて、新型コロナウイルス対策におけるサインージ計画についての提示（入場エリアでは会場内での行動ルールを明示、会場内、観客席エリアにおいては、行動ルールを各所で繰り返しリマインドを行う）
- ・またNFLなど、実績のある大規模スポーツイベントの例にしたサインージ事例も紹介。



上記、スポーツイベントでの実績、及びIOCワークショップの提示内容から設置個所、掲示方法を決定

### 【入場エリア】 ➤ 会場内での行動ルールの明示（①「入場を控えるべき対象条件」、②「会場滞在時の行動規範」）

- ・設置場所：PSA外バウンダリー、検温スペース・PSAキューイング前
- ・サイン仕様：大型A型、スタンドサイン 等 **※大きなサインで詳細なルールを明示する**

### 【会場内、観客席エリア】 ➤ 行動ルールのリマインド（②「会場滞在時の行動規範」）

- ・設置場所：会場入口～会場共有スペース（コンコース等）、トイレ、BOH諸室
- ・サイン仕様：小型A型、待機列 足元フットサイン、壁貼りシート **※動線上に分かりやすいサインで行動ルールをリマインドする**

# 4.検討詳細-③会場別サイン点数の算出

## (1) モデル会場別での検証による基本プラン設定

- 「さいたまスーパーアリーナ」、「横浜スタジアム」のコロナ対策の検討モデル会場他、複数会場に対して個別ヒアリングや現地視察を実施。PSA等の入場エリアから観客席への導線、関係者諸室までのルートを確認し、サイン配置の基本プランと設置台数の基準を設定。  
→ PSA1箇所大型A型2台、観客席入場口1箇所につき小型A型1台 等

## (2) 会場別の設置個所数 調査・分析

- 検温所新設やPSA待機列の距離延長を踏まえた入場エリア周辺の最新の計画資料（フィージビリティ調査）や会場内の詳細図面（オーバーレイブック等）を基に、モデル会場検証で定めたサイン設置個所の数を抽出。



モデル会場から算出した基本プラン、基準値に則り、会場別の設置場所数に応じたサイン数量を算出。

### 1. 観客用 検温スペース、PSAキューイングエリア

- 観客用 第1検温 個所数
- 観客用 第1検温 レーン数
- 観客用PSA 個所数
- 観客用PSA レーン数

設置個所数  
1 個所  
22 レーン (各検温レーンの合計)  
1 個所  
22 レーン (各PSAレーンの合計)



基準値

=

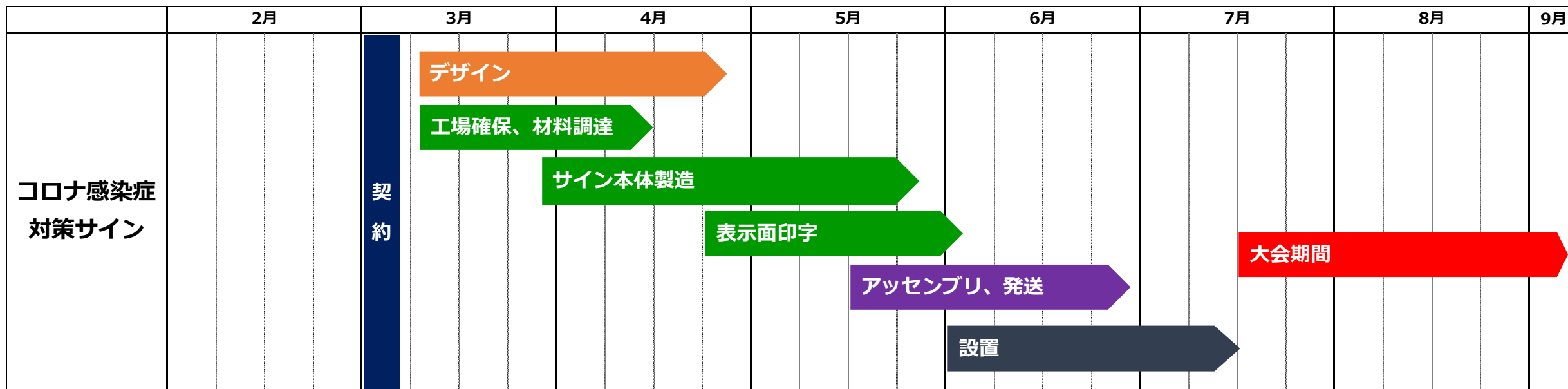
設置数量

設置場所	掲示内容 (仮)	サインイメージ	基準	製造数	設置者
① 会場バウダリー	感染予防の基本ルール (手指消毒、マスク、FD等)	小型 置き型サイン	検温スペース1箇所 × 10 台 =	10 台	SIG
② 観客用 検温スペース前 (PSAキューイング前)	検温、及び、入場条件の告知	条件文面の 全文表示	検温スペース1箇所 × 1 台 =	1 台	SIG
③ 観客用 検温スペース前 (PSAキューイング前)	感染予防に対する遵守事項 (手指消毒、マスク、フィジカルD等)	条件文面の 全文表示	検温スペース1箇所 × 1 台 =	1 台	SIG

- 各種ガイドラインに応じた周知事項
- ×
- 他スポーツイベント、IOCサインネーヅプランを参考にした設置個所、掲示方法の検討
- ×
- モデル会場検証を踏まえた基準値設定

会場別のサイン設置数量を算出

# 5.スケジュール



## ① デザイン、レイアウト制作【必要期間：2か月】（3月～4月）

・新型コロナウイルス感染症対策の注意・喚起として有効なビジュアル、デザインを新規で制作。

## ② 工場ライン確保、材料調達～工場入荷【必要期間：1ヶ月半】（3月～4月中旬頃）

・約20万点のサインを製造するための工場確保、及び、原材料手配から工場の入荷まで最短で1ヶ月半必要。

## ③ サイン製造～アッセンブリ～会場納品【必要期間：2ヶ月】（3月末～5月末頃）

- ・元々、会場内サインは1月末の数量決定がデッドであったため、既に1ヶ月以上の工期圧縮を余儀なくされている。
- ・サイネージFAが施工を行うバンパイン期間は43会場中、約30会場は6月からとなるため、製造日数、及び、会場別のアッセンブリや発送時間まで考慮した場合、**3月初旬発注～5月末のサイン生産完了が必須となる。**

※委託業者側と製造工程は常に最新の状況を把握し、観客数の変動等が発生した場合は、状況に応じて数量変更の対応が可能となる体制を検討する。  
例) PSA個所数、キューイングエリアの規模縮小等に合わせた足元フットサイン、待機列プラ柵用シートの数量削減、